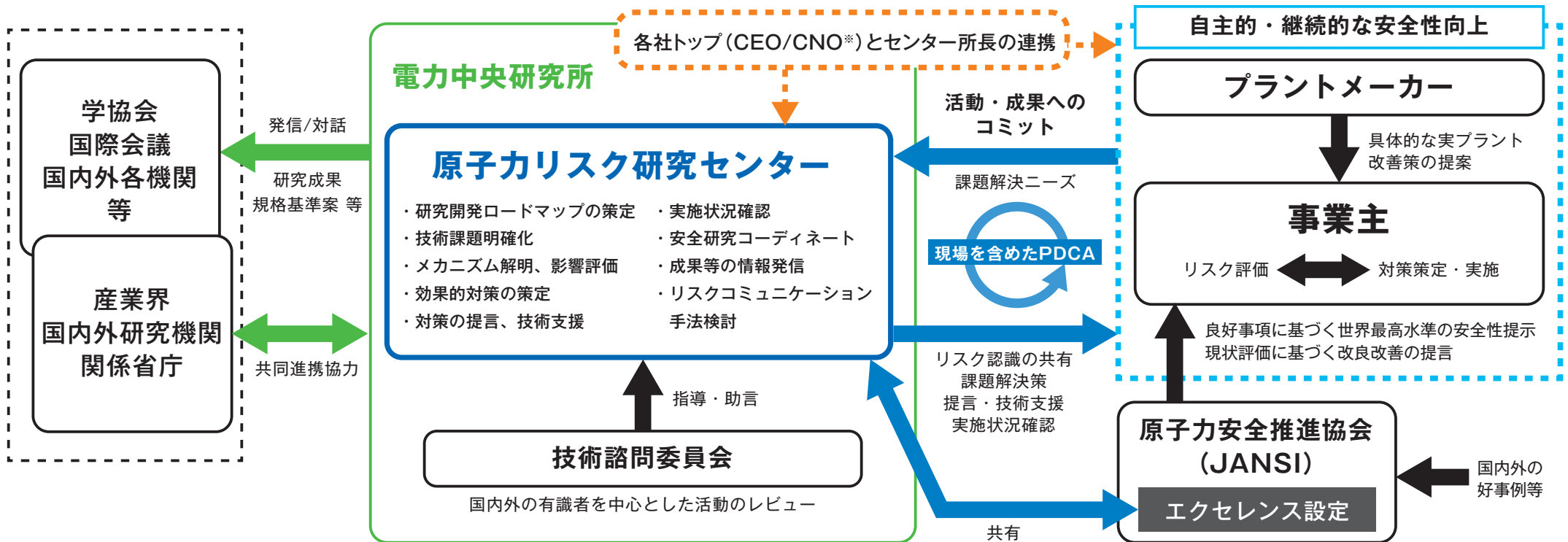


# 原子カリスク研究センター



## 「原子カリスク研究センター」の狙い

- 事故の発生確率の更なる低減と万一事故が発生した場合の被害の低減
  - ・関係機関の英知を結集した研究開発や技術検討を通じ、低頻度外的事象のメカニズム解明とプラント等への影響評価
  - ・研究成果に基づく効果的な安全性向上策の策定と、各プラントへの反映によるリスクの低減
- 不確実性の大きい低頻度外的事象へのPRAの活用
  - ・低頻度外的事象についてのPRAの開発ならびに安全性向上活動へのPRA活用手法の確立
  - ・事業者へのPRA導入、検証結果の展開・共有を通じ、我が国全体の安全性向上活動の合理性を向上
- リスク低減に向けた研究開発・研究成果等を一元管理することで「知の源泉」に
  - ・客観的かつ総合的なリスク認識に基づいた「研究開発ロードマップ」の策定、および研究成果の管理を一元的に行い、効果的な研究開発体制を構築
  - ・事業者やプラントメーカーだけでなく、外部の専門家や研究機関との調整、連携を通じて安全研究をコーディネート